

「鬼滅の刃」は国内のみならず、海外でもブームとのこと。私は子供たちのマスクの模様から、この流行を知った。高学年は漫画を読み、アニメを観て、まあ映画も観ておいて…というところで、さっさとブーム終了の気配だが、低・中学年は「鬼滅の刃」のことを尋ねると、みんな集まってきて「やっぱり煉獄さんは…」『上弦の三』の鬼は…」（←意味分かりますか？）と大いに盛り上がっている。

私はアニメも（某通販会社のスマホアプリで）無料で全話観ることができるし、映画「無限列車」も観ようと思えば…なのだが、すっかりブームに乗り遅れた感があるし、時間もなかなかとれない。よって子供たちに「え～っ校長先生、そんなのも知らないの！」と「キメハラ」（鬼滅の刃ハラスメント）されるがままになっている。ただ、子供たちに（大人にも）なぜこんなに受けるのかを考えることは、今の子供たちの「心」「考え方」「価値観」を知る上では大切だと思い、「鬼滅の刃」のあらすじや登場人物の性格、そして作品のテーマについて「ネット情報」ではあるが調べたりすることがある。

いずれにせよ、このコロナ禍で、この「鬼滅の刃」が大ブームになったことは、子供たちの生涯をとおしての「大きな思い出」そして何らかの「精神的な影響」を与えるのだろうと思う。

私が小学生のときは「仮面ライダー」「へんし〜ん」が社会現象とも言える大ブームだったが、「鬼滅の刃」ほどの複雑なテーマは無かったように思う。さあて…年末も見えてきたし、仕事に「全集中！」